



みなと

みなと 51号

2017年4月1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990

代表者 久保田加奈女

編集者 八木 はるみ

特別赤十字奉仕団員・防災ボランティア ワークショップ & 交流会 2017

平成 29 年 3 月 4 日(土) 14 時～17 時 於 日赤兵庫県支部 7 階大会議室



日本赤十字社兵庫県支部の特別赤十字奉仕団には、声の図書赤十字奉仕団、アクアラング赤十字特殊奉仕団、無線赤十字奉仕団、写真赤十字奉仕団、青少年赤十字賛助奉仕団（以上は特殊赤十字奉仕団）ほか神戸青年赤十字奉仕団などが登録されています。今回、相互理解と親睦を深め防災意識を高めることを目的に、支部大会議室にてワークショップ&交流会が開催されました。日赤兵庫県支部から藤原事務局長、逢坂事業部長、平野奉仕課長他スタッフ4名、団員35名が集いました。藤原事務局長のご挨拶に続き、3奉仕団の活動報告がありました。声の図書赤十字奉仕団は久保田委員長がパワーポイントで写真提示・解説を行ない、実物のプレクストークやCDも示しながら、声奉50年にわたる活動の歩みを紹介しました。

「赤十字奉仕団の見える化」というテーマでワークショップ・グループワーク発表、その後、軽食のサンドイッチを頂きながら赤十字に関するクイズなども交えて歓談。逢坂事業部長の閉会ご挨拶があり、最後に全員で記念撮影。神戸学院大学生たちの若々しい新鮮な意見も聞くことができ有意義な交流会でした。支部の皆様、有難うございました。 八木はるみ

平成 28 年度第 2 回 赤十字防災ボランティア 実践研修会

平成 29 年 2 月 4 日(土) 10 時～15 時半 於 日赤兵庫県支部 7 階大会議室



平成 29 年 2 月 4 日（土）、兵庫県支部大会議室で、平成 28 年度第 2 回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催しました。

今回の研修会には、特別奉仕団員 16 名、一般登録防災ボランティア 6 名が参加、防災ボランティアリーダー・サブリーダー 6 名が中心となり、ロープワークと止血、搬送の研修を行いました。

ロープワークは、本結び・巻き結び・もやい結びについて研修を行いました。中でも、もやい結びについては水難救助を想定した結び方を研修し習得されました。止血は、直接圧迫止血法と間接圧迫止血法の研修を行い、出血時の対処法を学んでいただきました。また、一人での搬送、毛布を使った搬送、担架による搬送などの研修を行いました。（奉仕課）



※ 研修内容 ①ロープワーク ②止血 ③搬送

紐の結び方（ロープワーク）はいろいろと・・・



止血は腕の この辺りで・・・



ケガ人や病人を1人で運ぶ場合は・・・



毛布だけでも・・・



担架を用いて・・・



担架搬送、お任せください！



平野課長、大丈夫でしたか？



新年度に向けて 平野課長から ひとこと

今回 2 月 4 日（土）に行われました第 2 回赤十字防災ボランティア実践研修では、多くの参加者から好評を頂きました。理由の一つに、研修毎の指導が丁寧に行われたこと、また繰り返し練習する時間を多くとり習得可能であったため、参加者が達成感を得られたことが挙げられます。

今回の成功を糧に、新年度の研修も一層の工夫をしまいたいと思っております。声の図書赤十字奉仕団の皆様方におかれましても益々のご活躍ご発展、また奉仕団としての飛躍を期待しております。そのためには奉仕課一同支援していく所存ですので今後とも赤十字活動にご理解ご協力賜ります様お願い申し上げます。

平野浩美 奉仕課長

デイジー班



デイジー班には、「マザー作成チーム」「発送チーム」「受入チーム」「機材チーム」があります…

今回は、「マザー作成チーム」と、デイジー班全体の取り組みについてご報告します。マザー作成チームの仕事は…「日赤声のアルバム」の各雑誌「あじさい」「花時計」「かざぐるま」「PHP」「やまなみ」「雪」の月刊誌と、「旅」「つちのこ」の季刊誌を1冊のアルバムにまとめ、マザーとなるCDを作成することです。

リスナーのもとに発送するCDは、このマザーを多数コピーして、1枚1枚モニターして、発送しています。

これまで小さなトラブルはありましたが、去年は、予期できないトラブルに見舞われ、マザーCD作成が大幅に遅れる事件？が二度ほど起きました。マザーCD完成が遅れると、モニター・発送まで、すべての発送作業へ影響します。そこで、すこしでもトラブルを避けるため、発送日の1週間前に、上記の各雑誌のうち、すでに提出されているものを点検するようにしました。可能な限り…ご協力ください。

また、思わぬトラブルを避けるために、マザー作成専用PCを購入してもらったのはありがたかったですが…Windows10にて、DIメーカーというソフトを使いこなすまで、たいへん苦勞しました。

提出前のチェックには、Lp Playerでの確認が必要ということもわかりました。各雑誌を完成されましたら、必ずLp Playerでチェックしてから、メモリーを提出してくださいよう…お願いします。

以上が、マザー作成チームの現状報告とお願いです。

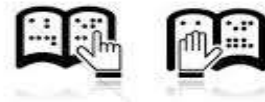
デイジー班としては、見直す会主催の「校正勉強会 part 2」のサポートをすることになり…録音技術の向上を目指します。

来年度に向けて…各雑誌の編集の仕方の部分で、統一が必要なこと、注意点などの共有ができるよう、また、少しでも編集担当者が増えていきますように、デイジー班主催の勉強会を企画しています。

「声のアルバム」の一層の充実に向けて、様々に取り組んでゆくことになるでしょう。

神坂順子（こすもす）





点字班

勤めていた頃親しい1年先輩の方が、学生のころ盲学校に実習に行つて経験したことを話されていました。その時「点字も続けたいけれど時間的に余裕が無く残念」と言われていました。そのとき「点字？ ふーん」とまるで他人事のように感じ、聞いていたのを思い出します。

そして不謹慎な言い方で申し訳ないのですが、軽い気持ちで点字班のメンバーに加えていただきました。

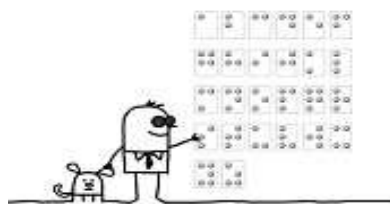
入れていただいたもののチンプンカンプン。家に表を貼ったりしても、全く全く意味ありませんでした。

そんな頃、学校講習のサポートのメンバーとして行かなければならなくなりました。さあ困った！何一んにもわからない！まず、福井さんに無理やりお願いして（そのときは行かれる予定では無かったのに）行っていただいて、生徒さんに呼ばれるたびに「福井さーん」と呼んで助けていただいて1時間を終えた有様です。

「ああ こりゃ何とかしなきゃ」と、ちょうど開かれていたこうべ市民福祉交流センターでの点訳講座に参加しました。およそ6か月でしたが、少しはわかったものの、その講座はおもに書くほうが主でした。学校講習では、やはり生徒さん達を書いたものを読むほうが役立ちます。今も呼ばれて一瞬アガッて「あれ？ どうだっけ」と、とっさに読めないことも多々あります。そしておよそ45分の点字学習で(主に4、5年生の)ほとんどの生徒たちが、その日の日付けと自分の名前、また時間がある生徒さんは感想まで書いてくれるのは驚きと感動です。感想には多くの生徒さんが「点字は難しかったけどたのしかった。」と点字で書いてくれます。終わって点字器などを回収するとき「こんなんあったらなー」と、もっと点字を打つてみたいと興味を示す生徒さんも多いです。

学校講習以外の活動もしていますが、自分ではボランティアとして役にたっているかどうか心もとないですが、こうして楽しく活動に加わらせていただいていることをいつも感謝しています。

長谷川洋子（ことばの花束）



単行図書検討会



団員の皆様、平素は単行図書の製作にご協力いただきありがとうございます。

平成28年度 単行図書の新刊登録及び貸し出し状況を以下の通りご報告いたします。

(H28年3月1日～H29年2月28日)

○新刊登録

リスナーからのリクエスト本	4冊
単行図書検討会推薦本	6冊
自薦本	0冊
プライベート本	2冊
計	12冊



○貸し出し

デジター図書	333冊
テープ図書	2冊
計	335冊

12冊の単行図書製作に携わってくださった方々、本当に有り難うございました。新刊登録冊数は、昨年度15冊、一昨年度19冊と比較すると、単行図書製作の低迷が伺えます。貸し出し数を見ると、デジター図書への移行が完了したと言えるでしょう。貸し出し数も335冊で、去年より増加しました。

新刊登録のためには、朗読・校正・編集と、多くの時間や労力を費やさなければなりません。多くの学びを得られる良い機会となります。是非、新刊登録にチャレンジしてください。単行図書を朗読して下さる団員を募集しています！毎月発行している「単行通信」をご覧になり、“この本読んでみたい！”や、“この本面白かったからお薦めしたい！”と思われた方、初めての方も大歓迎です。「単行通信」は、各グループに配布しておりますし、ボランティアルーム声奉のロッカーにも貼り出しています。単行図書充実のために、ご協力を宜しくお願いいたします。

尚、デジター単行図書目録と新刊案内を一昨年5月よりホームページ上にアップし、データは4ヵ月に1回(年3回)更新をしています。リスナーへの新刊案内は、従来通り<花時計・やまなみ>にて案内し、昨年10月から<つちのこ>の中で単行図書のお薦めコーナーを作りました。既存図書の中からお薦めの作家や作品を取り上げ案内しています。

今年度も多くの単行図書をリスナーにお届けすべく、様々なジャンルや著者の作品を幅広く選定し、リスナーの希望にお応え出来るよう励んで参ります。

単行図書に関するご意見、ご要望をどうぞお寄せください。単行図書検討会の引き出しにメモを入れてくださっても結構です。どうぞよろしくお願いいたします。

木名瀬幸子(ことばの花束)

朗読・音訳を見直す会



勉強会に寄せて

平成28年12月21日の勉強会の教材は25歳で日本盲人図書館を創立した本間一夫の記事であった。朗読のポイントは

- ・ タイトル、写真などリスナーに判り易く順序を追って読み始める。
- ・ 文章は文意、まとまりを意識して読む。
- ・ 引用文と本文との読み方の違い
- ・ 間の取り方など

皆で内容を具体的に細分化し確認し合った後、最後の講師の言葉、「私たちは目で見て読んでいるがリスナーは見えていないのです。」と言われたことが心に残った。これは、当然理解していたはずの言葉だった。

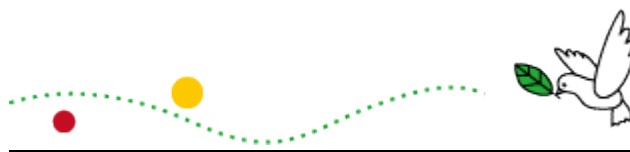
「本間一夫と日本盲人図書館」本間一夫生誕百年記念出版には、「晴盲2つの世界があくまでも公平でなければならぬという盲界社会事業理念をものにするまでは、断じて他の仕事には手を染めぬ」と記されている。当時の戦況化で本間一夫の固い決心が基になり今がある。本間一夫が信念とする盲界社会事業理念と勉強会での講師の言葉が根底で重なった。

もう今から10数年も前の事になるが、私には忘れることができない場面がある。何かの用事でリスナーのお宅へ向かった時のことである。約束の時間通りに着いたつもりだったが、リスナーとお母様は寄り添う様に玄関の上りかまちに座り敷居を指でなぞりながら、表通りから聞こえる人の声や靴音に耳を澄ましておられたのである。私は予期せぬ2人の姿に戸惑った。生活の一事が万事そうでないにしてもどんなに忍ばねばならないかを思う。

生誕100年を機にその足跡を鮮明に書き表した作家、出久根達郎の文章を12月から2月まで何度も読み返し、まさに黙読100回、音読100回の実践でした。今年度も朗読勉強会と校正勉強会が計7回開催されましたが、今まで以上にさらにレベルアップした録音図書をお届けできるものと思います。

大下 操 (青年)

リスナーだより



交流会に寄せて

交流会、本当に楽しく聴かせていただきました。ヴィオラ珍しかったです。マンドリンのようであり、ロシアのパライカのようであり、その他多彩な音色で大変良かったです。毎年、日赤の皆様には心温まるおもてなし、いろいろな企画感謝します。

香山良樹さん

23日は大変ご苦勞様、お疲れ様です。おかげで楽しい一日を過ごせました。友だちと又来年行こうねと言っております。

吉田徳子さん

つちのこ冬号

星月夜 夢語りから・・・夢に出てくるような物語が多いのだなと思いました。耳なし芳一・かぐや姫の後日談があること、はじめて知りました。河合隼雄の泣き虫は一ちゃんより、味噌汁 サンタですが、これもユニークで面白い話だなと聴いていてつくづく思いました。それではお身体ご自愛ください。春号も楽しみにしています。ごきげんよう。

中原真理子さん

声のアルバム

声のアルバムありがとうございます。
人は生きていく上に人の支えが沢山あって
生きていることを改めて思います。
文章というものはいろんなことを気づかせて
いただくことのためにあるようです。

香山良樹さん

花時計プログラム

花時計 1月号 (神戸YWCA)

- 1 番 神戸開港 150 年
- 2 番 熊本をたずねて
- 3 番 おでんの話
- 4 番 娘の誕生日
- 5 番 大学はおいしい
- 6 番 お便り紹介
- 7 番 新刊図書紹介

・神戸が色んな物の発祥地であったなんて驚いてしまいました。神戸開港 150 年の行事、成功することをお祈りします。

・熊本の地震後、ゆっくりと復興していく様子がよくわかりました。

・おでんの語源を初めて知りました。海外にもおでんがあるとは知らなかったです。

(中原真理子さん)

花時計 2月号 (こすもす)

- 1 番 宮沢賢治が愛した音楽と朗読
- 2 番 吉沢久子著より「好奇心の保ち方」と「朝食にはおかゆさん」
- 3 番 綾小路きみまろ編「きみまろ夫婦川柳傑作選」より
- 4 番 星野道夫著『旅をする木』より「春の知らせ」
- 5 番 暮しの手帖〈すてきなあなたに〉より「うれしい鍋」
- 6 番 お便りコーナー

2月号の花時計、楽しく、ほっこりする話ありがとうございました。

カリブーのお話しも自然のお話し、厳しいけれど素敵だなあと思いました。

(吉田徳子さん)

宮沢賢治は有名なレコードを沢山持っていたのですね。朗読劇もとても面白かったですよ。音楽にのせて劇なんていいなと思いました。

星めぐりの歌は初めて聴いた気がします。こんな歌があったのですね。

好奇心の保ち方、朝食にはおかゆさんの2編、とても面白く聴きました。

綾小路きみまろの傑作川柳、どれも面白く楽しくユニークな川柳で、夫婦それぞれの味が見えました。

春の知らせ、しみじみと聴かせていただきました。

(中原真理子さん)

花時計 3月号 (あかりの会)

- 1 番 一度は使ってみたい季節の言葉 ① 霞 ② こぶし ③ 雛
- 2 番 海の物流「北前船」
- 3 番 朗読 ① 灘にいた頃 ② 菜の花
- 4 番 菜の花のレシピ
- 5 番 群読 ① 世界をみつめる目 ② 手と心で読む
- 6 番 詩の朗読 戦場
- 7 番 大阪言葉 「ちびる」「いうやんか」「祭りづくし」
- 8 番 リスナーさんからのお便り



花時計担当表 (2017年4月号～2017年12月号)

4月号・・・はあもにい	10月号・・・はあもにい
5月号・・・ことばの花束	11月号・・・ことばの花束
6月号・・・ともしび	12月号・・・ともしび
7月号・・・神戸YWCA	1月号
8月号・・・こすもす	2月号
9月号・・・あかりの会	3月号

